



# がんちゃんのIPE通信

IPE (Intellectual Property Education)

## 実録 すったもんだの特許登録

### 第2回 加工食品用改質玄米粉の開発

加工食品用改質玄米粉は、玄米由来のビタミン類（ビタミンB<sub>1</sub>、ビタミンB<sub>6</sub>、ナイアシン）、ミネラル（マグネシウム、リン）、食物繊維などの栄養成分を損なうことなく種々の加工食品に適用できるように、特定条件で玄米を湿熱処理してから乾燥・粉砕したものです。この技術に関する特許を出願してから学会発表9件ならびに学会論文4報で公知化しました。なお、東日本産業(株)（紫波郡紫波町）が改質玄米粉を製造・販売し、これを使用して(株)オリオンベーカリー（花巻市）は「玄米入りクロワッサン」、白石食品工業(株)（盛岡市）は「ブラウンライス・ブレッド」（現在は配版）を発売しました。

さて、2005年度の水稲の収穫量は906万2000トンであり、岩手県ではその3.6%に相当する32万6000トンを収穫しています（農林水産省大臣官房統計部）。一方、1人1ヶ月当たりの米消費量は、この40年間で半減しました。消費世帯と生産世帯を合わせて1998年度には5.2kgでしたが、2005年度には約4.9kgまで減少し、その後も減少の一途をたどっています（農林水産省総合食料局）。



「玄米粉入りクロワッサン」



「ブラウンライス・ブレッド」

(文:農学部助教授 三浦靖)

## 好評の公正取引委員会講演会

平成18年10月24日、本学において、公正取引委員会講演会「公正取引委員会の最近の取組み—改正独禁法の施行、入札談合、知財分野—」が開催された。講師は、公正取引委員会委員の山田昭雄氏である。

山田氏の講演は、最初にIT分野（DSL事業）における新規参入妨害事例を通じて、不正な競争が社会におけるイノベーションの発展を阻害することを例示し、つぎに入札談合を通じての官公調達契約が国民に与える多大な損害（税金からの不当利得）につき詳論したうえで、そうした不正な競争に対処するための最近の独禁法の強化・改正に言及するものであった。知財分野との関連では、科学・産業の発展に寄与する知的財産権は本来的に独占権を与えるものであるから独禁法の適用除外となるところであるが、ときに特許や著作権の行使が競争者の排除や新規産業創出の阻害要因となり権利濫用となるケースがあるという。そこでは知財政策と競争政策とのバランスを図ることが重要である、と山田氏は指摘する。約120名の受講者からは「マイクロソフト社や着うたの話など身近な例があってわかりやすかった」「公正取引の重要性を痛感した」などの感想が寄せられ、講演会は好評のうちに幕を閉じた。

(文:人文社会科学部教授 松岡勝実)

## 現代GP活動予定

1月12日  
知財教育フォーラム  
「地域おこしと知的財産 環境と両立するむらおこし・まちおこしのための知的財産活用術」

## 現代GP活動記録

11月9日  
講演会「農学系知財活用の最前線」  
講師：神山修(農水省参事官)  
小林昭一(岩手大学特任教授)

岩手大学知的財産教育実行委員会

〒020-8550  
岩手県盛岡市上田三丁目18番34号

知財教育推進部事務局

電話 019(621)6749  
FAX 019(621)6749  
Email: chizai@iwate-u.ac.jp



岩手の“大地”と“人”とともに

# 第2回知財現場見学研修の報告 Ⅱ

前回のニュースレターの報告に続いて、今回は研修に参加した学生のアンケート結果について報告をします。9月25・26日に行われた現場研修（東京）に参加した学生は、人社10名、教育2名、工学3名、農学3名の計18名です。なお、昨年度と比較するために、第1回研修（平成18年3月6・7日）に参加した学生（13名）アンケート結果も併記しました。

1. 全体として研修会の内容はよく理解できましたか。

	第1回	第2回
①大いに理解できた	1	2
②ある程度理解できた	12	14
③どちらともいえない		1
④どちらかといえ理解できなかった		
⑤まったく理解できなかった		
無回答		1

2. 東京研修でもっとも訪問してよかったと思う場所を1つ選んでください。

	第1回	第2回
①最高裁判所	3	5
②知財高等裁判所		1
③特許庁	3	3
④東芝知財部	2	3
⑤鈴業特許事務所	5	6

3. この研修に参加して、「知的財産権」についてより興味を持てるようになりましたか。

	第1回	第2回
①大体持てるようになった	6	6
②ある程度持てるようになった	6	10
③どちらともいえない	1	1
④どちらかといえば持てるようにならなかった		
⑤まったく持てるようにならなかった		
無回答		1

4. このような研修は、知財教育に役立つと思いますか。

	第1回	第2回
①大いに役立つ	6	9
②ある程度役立つ	7	9
③どちらともいえない		
④どちらかといえば役に立たない		
⑤まったく役に立たない		

5. 総合的にみて、今回の研修に参加してよかったと思いますか。

	第1回	第2回
①非常によかった	8	10
②まあまあよかった	5	8
③どちらともいえない		
④どちらかといえばよくなかった		
⑤まったくよくなかった		

6. もし、自費で参加するとしたら、このような研修に参加しましたか。また、②を選んだ場合は、負担してもいい金額を記入してください。

	第1回	第2回
①自費でも参加する		1
②口元ぐらゐの自己負担なら参加する		8
③自費なら参加しない		9

②を選んだ場合の負担額

5000円 3人 5000～15000円 1人  
10000円 2人 15000円 1人  
宿泊分 1人

アンケートの結果から、知財現場研修は参加学生たちにとって意義あるもので、知財教育にも役立っていると評価できましよう。とはいえ、学生たちの自由記述のなかには、知財と裁判所の関わりがよくわからなかった、荷物を持ちながらの移動が辛い、1日目のスケジュールが過密できつい等の声もあり、プランの立て方には改善の余地があるようです。

(作成：人文社会科学部助教授 宮本ともみ)